

# のびいき正志ま通信し

Vol. 5  
2006. 9 月

## 九月定例会報告

本会議における一般質問をこ報告いたします。(平成十八年九月八日 開催)

### 高齢社会の今後の対応について

質問(野崎) 要旨

医療制度改革の中で治療から予防重視へと変わっている。4月に創設された介護予防サービスは地域支援事業と2段階で行われる。市民はよりよい介護予防サービスを望んでいる。それぞれ家族状況も要介護の状況も違っている。今後は市町村でサービスも変わっていくのだと思われる。どのような取り組みを行っていくのか。認知症の高齢者が増えていると見込まれている。家族の精神的、経済的な負担は大きい。社会全体の問題として具体的な対応が望まれる。早期発見、早期対応も大事だが、どう取り組んでいくか。地域ケア体制の整備も求められている。予防体制にどう取り組んでいくか。高齢者の財産を狙った事件が社会問題化している中、支援事業として、成年後見人制度がある。親族のほか、弁護士など第三者もなれる。制度についての理解が不十分で利用が進まない。制度の周知などにどう取り組んでいくのか。

答弁(市長) 要旨

要介護が見込まれるなど、特定高齢者については、運動指導、栄養指導などのサービスを提供している。すべての高齢者を対象に介護予防教室、物忘れ相談などのサービスを提供している。さらに機能訓練など予防重視型の

中で介護予防事業を実施している。日常生活圏域でサービスが提供できるようになった。小規模機能型居宅介護サービスも五か所で整備する計画。十八年度開業予定の二事業者を決定したところ。認知症の正しい知識の啓発などに努めて、地域ポランディアの確保など支援体制づくりに取り組んでいきたい。

答弁(福祉保健部長) 要旨

体系的支援体制を整備するためにも、総合的な相談支援体制のネットワークを考えていきたい。市内三会場で権利擁護の講演会も予定している。

### 図書館事業について

質問(野崎) 要旨

各小中学校と市立図書館との蔵書情報ネットワークの整備に早期に取り組むべきでないか。ブックスタート事業が実施されている。さらに細かく施策をアピールしていくべきでないか。

答弁(教育長) 要旨

いろいろな事業を通じて、学校と図書館とで連携している。ネットワークの整備は子どもたちの学習の充実に有効と考えているが、現在はネットワークの構築は行われていない。いろいろなシステムの構築。あるいは経費面からも今後、検討したい。保護者や家庭に読者活動の意義を伝えていくためのもブックスタート事業は大切と考えている。子どもたちが読書に親しむように推進を図りたい。